

平成26年度当初予算 施策 取組概要

261 文化の振興

26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実

(環境生活部)

(主担当部局：環境生活部)

26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用

(教育委員会)

県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体がそれぞれの力を生かし、協力し合いながら三重の文化活動を支えており、県民の皆さんが多様な文化にふれ親しみ、文化活動への参加をとおした幅広い交流が行われるとともに、歴史的・文化的資産等が地域の誇りとして、大切に守り伝えられ、活用されています。

平成27年度末での到達目標

三重の文化や文化財が効果的に県内外へ情報発信されるとともに、それらを生かした取組が活発になり、県民の皆さんが、主体的に文化活動に参加・参画し、地域の魅力や価値を高めています。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
参加した文化活動に対する満足度		64.0%	64.0%		65.0%	66.0%
	63.3%	63.2%				
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	三重県文化会館が実施した公演事業および歴史的・文化的資産を生かしたまちづくり事業などにおけるアンケート調査で、公演やイベントの内容について、「とても満足している」と回答した人の割合					
26年度目標値の考え方	平成27年度の目標達成に向け、平成26年度においては、文化交流ゾーンを構成する施設等の連携・協働によるイベントや効果的な情報発信などにより向上を図ることとし、目標値を65.0%として設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実(環境生活部)	文化交流ゾーンを構成する施設の利用者数		1,210,000 人	1,230,000 人		1,506,000 人	1,360,000 人
		1,190,377 人	1,180,672 人				

基本事業	目標項目	23 年度	24 年度	25 年度		26 年度	27 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実 (環境生活部)	文化芸術情報アクセス件数		70,000 件/月	75,000 件/月		88,000 件/月	100,000 件/月
		57,927 件/月	64,952 件/月				
26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用 (教育委員会)	文化財情報アクセス件数		16,700 件/月	16,800 件/月		16,900 件/月	17,000 件/月
		16,623 件/月	16,723 件/月				

進捗状況（現状と課題）

- ・新しい文化振興方針の策定に向けて、文化審議会での調査・審議を開始しました。また、文化審議会に、「文化交流ゾーン検討部会」を設置し、文化交流ゾーンの魅力を高めるための事業や運営のあり方を調査・審議しています。
- ・「伊勢」を統一テーマとした取組では、斎宮歴史博物館の特別展、図書館の大都市圏連続セミナー、文化会館の演劇、映画上映を実施し、好評を得ています。今後も引き続き、地域における文化活動の促進と文化交流ゾーンの魅力発信に取り組む必要があります。
- ・三重県総合文化センターは、青少年を対象とした新たな制作演劇「ミエ・ユース・演劇ラボ」を開始するとともに、市町ホールとの連携により、ワンコインコンサートの県内開催の拡大等に取り組んでいます。引き続き、施設の計画的な改修・修繕を行いながら、県民の皆さんの多様なニーズに対応した公演事業等を提供し、その満足度の向上に努める必要があります。
- ・みえ文化芸術祭は、音楽コンクール記念コンサート、県展及び県民文化祭を気候の良い春期に総合的に開催し、事業の相乗効果の創出を図ることで、入場者数の増加に繋がりました。今後もより多くの県民に親しまれる文化芸術の祭典を実施する必要があります。
- ・歴史街道やまちかど博物館については、街道ウォークやまちかど博物館同士の連携イベントなど、地域の歴史的・文化的資産を活かしたまちづくり活動が行われ、地域の自主的な取組として定着するなど一定の成果が収められました。今後も地域住民の皆さんの、自主的な活動を支援していくことが必要です。
- ・国史跡斎宮跡東部整備については、3棟の復元建物の整備に向けて準備を進めています。今後、地域と連携・協働しながら、史跡全体の活発な利活用と情報発信の強化に取り組む必要があります。
- ・県にとって歴史的・文化的に重要な文化財を県指定等とするため、文化財保護審議会等を開催しました。また、既に指定等を受けている文化財や埋蔵文化財が適切な保護・継承が行われるよう、所有者等に財政的・技術的な支援を行いました。今後は、地域を中心としたさまざまな主体が参画して文化財を守り、活かしていく取組が求められています。
- ・平成 24 年度から海女習俗詳細調査を実施し、文化財指定にむけての条件整備を行いました。今後は、詳細調査の報告書を作成するとともに、その成果をもとに、海女習俗が県文化財指定を受けられるよう、引き続き取組を行う必要があります。
- ・世界遺産に関しては、文化庁、奈良県、和歌山県と連携して三県協議会を運営し、適正な保存と活用を図っています。関係市町に対しては、世界遺産の適正な保存と活用が図られるよう支援しています。

環境生活部

- ・ 10 年先を見据え、県民の皆さんの幸福実感を高める新しい文化振興方針の策定に向けた文化審議会での議論等を踏まえて、取組を進めていきます。
- ・ 文化交流ゾーンにおいては、ゾーンを構成する各施設が、それぞれの独自性を活かしつつ、事業や情報発信の面で連携し、三重の持つ多様な文化の魅力を県内外に発信していきます。
- ・ 文化交流ゾーンを構成する各施設の連携を一層強化し、文化交流ゾーンの魅力や価値を高めるために施設の運営のあり方を検討します。
- ・ 三重県総合文化センターについては、施設の適切な維持と有効活用を図るとともに、多彩で魅力的な文化芸術公演の実施、アウトリーチ活動等による文化・芸術の普及・人材育成などを進めます。
- ・ みえ文化芸術祭は、有識者や関係団体等の意見を聴きながら、より効果的な運営方法の検討など、県民の皆さんの満足度の向上に向け、取り組んでいきます。
- ・ まちかど博物館や歴史街道等の地域の資産を活用した地域の皆さんの自主的な地域づくりを、広報や情報提供等を通じて、引き続き支援します。
- ・ 国史跡齋宮跡について、史跡の保存と活用のための計画的・継続的な発掘調査を進めるとともに、地域と連携・協働しながら、平成 27 年春に完成予定の 3 棟の復元建物を含めた史跡全体の活発な利活用と情報発信の強化に取り組みます。

教育委員会

- ・ 後継者不足や所有者の財政難により保存と継承が困難になっている文化財に対し、財政的・技術的支援を行うとともに、県民が文化財に対する愛着と誇りを育むため、所有者や地域住民等が実施する活用事業に対し支援を実施します。
- ・ 海女習俗の国文化財指定に向けて、関係機関と連携し、資料の充実を図ります。
- ・ 世界遺産の良好適正な保存と活用を実現していくため、関係機関と連携した取組を行うとともに、登録 10 周年を契機にその魅力を発信し、教育および文化財保護啓発のための活用を進めます。

主な事業

環境生活部

● 文化交流機能強化事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(25) 12,420 千円 → (26) 12,332 千円

事業概要：移動美術館や県展移動展、熊野古道世界遺産登録 10 周年にちなんだ講演会、セミナー等を県内外で開催し、三重の文化の魅力を発信するとともに、県民がさまざまな文化にふれる機会を提供します。

● (一部新) 文化会館事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(25) 46,172 千円 → (26) 84,291 千円

事業概要：文化会館において、多彩で魅力的な文化芸術公演の実施やアウトリーチ活動、人材育成に取り組み、県民が文化芸術にふれ親しむ機会を提供します。また、開館 20 周年を記念し、海外及び国内トップレベルの公演事業を実施します。

- 文化にふれる機会提供事業【基本事業名：26101 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
 予算額：(25) 10,500千円 → (26) 10,800千円
 事業概要：県民が文化活動の成果を発表する場として、「県民文化祭」「県展」「音楽コンクール」を県民総ぐるみの文化の祭典「みえ文化芸術祭」として総合的に開催します。
- 地域の文化資産活用促進事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 予算額：(25) 2,211千円 → (26) 1,658千円
 事業概要：まちかど博物館や歴史街道等の歴史的・文化的資産を活用した地域住民の主体的なまちづくり活動を支援します。
- こころのふるさと齋宮づくり事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 予算額：(25) 318,489千円 → (26) 153,915千円
 事業概要：平安時代の齋宮が体感できるよう、平成27(2015)年春の完成をめざして、東部整備基本計画に基づき、3棟の復元建物の建築工事を行います。

教育委員会

- 活かそう守ろう“みえ”の文化財事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 予算額：(25) 111,105千円 → (26) 141,298千円
 事業概要：魅力ある活用事業を計画的に進めようとする国・県指定等文化財について、所有者などによる文化財の修復等の保存事業と公開活用事業に対し、補助金を交付します。
- 新たな地域文化発掘推進事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 予算額：(25) 3,405千円 → (26) 1,170千円
 事業概要：三重県のネイティブ（生え抜き）である文化遺産を発掘し、文化遺産の保存継承や実際にかかわっている人々と情報の共有や連携を図っていきます。
- （新）世界に誇る三重の文化財記録事業【基本事業名：26102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
 予算額：(25) ー千円 → (26) 11,010千円
 事業概要：海女習俗について、民俗文化財としての価値を関係機関等に伝えるための映像記録やリーフレット等の作成を行います。また、世界遺産登録10周年を迎える熊野古道伊勢路について、「世界遺産の道」としてその本質的価値を啓発するための映像コンテンツを作成します。